

不法投棄されていた土地を地元の手で憩いの場に！ ～夢のひろばづくり～

想い

軌跡



ひろばで草刈のあとヤギとひと休み

【主な活動実績】

平成20年	会の発足
平成20年	花壇部分(2,000㎡)の花植えを開始
平成25年	造成地全体(約2万㎡)の管理を花と緑の会で開始
平成26年	ヤギの飼育をはじめ
〔Twitter〕@yagi_suda 〔Instagram〕 yagisuda	

花と緑の会 会長 田中 三郎

このままではいけない

当時、市の残土置き場として利用されていたこの土地…。不法投棄が絶えず、管理が難しかった。

『須田小学校に近いこの場所が、荒れたままでいいのか。』地元で声があがりはじめた。

地元のちからで！

地元の声を受け、市は『夢のひろば須田』として整備を行った。しかし、自然のちからは強く、しばらく経つと、また雑草が生い茂ってしまう。市の予算も限界があり、管理は難しい。

そんな時、『地元でやってみよう！』と声をあげた。『市に任せてばかりではだめだ。地元で住民自らが管理していこうではないか。』と…。

おもしろいアイデアを持ち寄って

夏場は刈ったそばから雑草が生えていく。そこでヤギを飼育してみた。除草を手伝ってくれるだけでなく、ヤギに会うために近所の人たちが訪れるようになり、人気者に。おもしろいと思ったアイデアを実現させることで、会の活性化にもつながった。

毎年、少しずつ新しいことへ挑戦していく

昨年と同じことをするという事は、現状維持ではなく、衰退につながる。少しずつでも、新しいことに挑戦していくことが、大切だ。

来年は、ホタルを地元で復活させることができたいだろうか…。



ひろばで飼育しているヤギはみんなの人気者



『1年中花が見られるひろばに』を合言葉に



花と緑の会のメンバー
(前列左が田中会長)